

5 . 日本の商品別国地域別貿易指数（2002 年版）

日本の貿易指数（価格指数、数量指数、金額指数）を商品別国・地域別に作成し、とりまとめたものである。

日本の貿易は輸出も輸入も資本財～特に機械機器部品や電気・電子部品などの部品類が中心になっている。このため、貿易の動向を把握するには、単なる貿易額の増減だけではなく、数量的な変化を把握するためには部品類等の数量面での分析が必要である。

本書は、日本の貿易指数を作成することで、国・地域別の貿易動向を把握しようとするものである。

また、参考までに米国の貿易指数も掲載している。

日本の貿易指数の掲載データの特徴は次のとおりである。

- 1) 円貨建て貿易指数および米ドル建て貿易指数
- 2) 主要な財別の分類に加え、コンピュータ部品、集積回路、自動車部品など部品類を中心に、できるだけ詳細な品目に分けて貿易指数を作成
- 3) 米国、EU など主要な地域別の分類に加え、中国、台湾、韓国、シンガポール、マレーシア、タイなど、できるだけ国・地域を細分化して貿易指数を作成
- 4) 1994 年以降の年次データおよび 1998 年第 1 四半期以降の四半期データ

なお、データ集を電子媒体での利用を希望される方のために、本資料の CD-ROM 版の提供も可能である。